

thermoscientific

第69回日本生物工学会大会 ランチョンセミナー 3L-J05

幅広い化合物情報を取得するための 最新質量分析技術

～代謝を理解するターゲット分析と未知有用代謝物を見出すノンターゲット分析～

演者 高原 健太郎

サーモフィッシャーサイエンティフィック株式会社
クロマトグラフィー&MS事業部 マーケティング部

日時 2017年9月13日(水)11:45～12:45

会場 J会場(52号館 304室)

生物工学研究で生じる「主要代謝の理解」と「有用物質の検出・同定」に関して、当社が提供する質量分析計解析手法を実用例とともにご紹介いたします。

主要代謝物を分析するためのメソッドパッケージ

物質生産を担う主要代謝物の分析は、多くの生物工学研究に有用な情報をもたらす一方、分析法を一から立ち上げるには非常に労力がかかります。新規に分析を導入された方でも迅速に結果を得ることができるよう、当社はGC Orbitrap™およびLC Orbitrap用にそれぞれ開発したメソッド・パッケージを提供しております。さらに分析初心者向けの前処理から解析までカバーする簡易分析キットについても測定例とともにご紹介いたします。

ノンターゲット分析を成功させるクロマトグラフ

生体試料、食品試料、培地成分などの多様な化学特性をもつ混合物において、多岐にわたる化合物を広い濃度範囲で測定するノンターゲット分析では、優れたクロマト分離が欠かせません。妥協なく優れた分離が可能なThermo Scientific™ Vanquish™ UHPLCシステムと極性化合物の保持・異性体分離に優れたイオンクロマトグラフシステムをご紹介するとともに実際の分離プロファイルとともにお示しします。

質量分析データから最大限に情報を引き出す解析ソフトウェア

最新の質量分析計のデータは大容量で多くの情報をもたらしますが、マニュアル解析でデータの全体像を把握するのは困難です。低分子解析ソフトウェアThermo Scientific Compound Discoverer™は、得られた成分情報を抽出し、質量から分子組成式や化合物と結び付けマニュアル解析を自動化します。さらにMS/MSスペクトルを集積した無料のWebサイト「mzCloudライブラリ」(<https://www.mzCloud.org/>)により、スペクトルマッチングから化合物同定だけでなく部分構造推定が可能になります。

本セミナーでは、これから質量分析装置の導入を検討する研究者に、測定系の立ち上げをどのように加速できるか、また解析データからどのような結果が期待できるかについてご提案いたします。

© 2017 Thermo Fisher Scientific K.K. 無断複写・転写を禁じます。 LCMS108_A1706SO
ここに記載されている会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。
ここに記載されている内容は予告なく変更することがあります。

サーモフィッシャーサイエンティフィック株式会社

分析機器に関するお問い合わせはこちら

TEL : 0120-753-670 FAX : 0120-753-671

✉ Analyze.jp@thermofisher.com

facebook.com/ThermoFisherJapan

@ThermoFisherJP

www.thermofisher.com

ThermoFisher
SCIENTIFIC